



平成25年2月1日

各 位

タ ツ タ 電 線 株 式 会 社
(代表者名) 取締役社長 木村 政信
(コード番号5809 東証・大証第1部)
(問合せ先) 常務取締役 総務部 経理・財務担当部長 松本 一郎
TEL (06) 6721-3011 (代表)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

1. 特別損失の発生及び発生見込みについて

①減損損失の計上

利用状況が大幅に低下している厚生施設について、今後の見通しを勘案した結果、当第3四半期末において、「固定資産の減損に係る会計基準」にもとづき、減損損失1億9千2百万円を計上しました。なお、当該厚生施設については、当年度下期において一部除却により、固定資産除却損1億2千万円の計上を予定しておりましたが（平成24年10月24日公表）、減損の事実発生により減損損失として計上するものでこの結果、損失額が7千2百万円増加しました。

②環境対策引当金（PCB処理費用）の追加計上

当第3四半期において、合理的な見積もりが可能となったPCB廃棄物の処理費用について、7千3百万円を環境対策引当金に追加計上しました。

③事業構造改善費用の計上見込み

電線事業の構造改革に伴う費用に備えるため、当第4四半期において事業構造改善費用5億円の計上を見込んでおります。

2 特別損失の発生及び最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の連結業績予想について下記の通り修正いたします。

通期累計期間（平成24年4月1日～平成25年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り当期純利益
前回発表予想(A) (平成24年10月24日発表)	46,500	5,500	5,600	3,150	49円38銭
今回発表予想(B)	45,200	5,200	5,300	2,600	40円76銭
増減額(B-A)	△1,300	△300	△300	△550	—
増減率(%)	△2.8	△5.5	△5.4	△17.5	—
(ご参考) 前期実績	45,809	3,346	3,347	1,877	29円43銭

修正の理由

売上高は、主として建設・電販向け電線ケーブル販売量の減少及び導電機能性材料の受注急減により前回予想値を下回る見込みであります。

損益面では、電線・ケーブル部門は、構造改善の進展により予想を上回る見込みですが、電子材料部門については、第3四半期終盤からのスマートフォン向けの受注の減少及びけいはんな学研都市の新拠点への大阪工場設備の移転に伴う費用増等により収益の減少が見込まれます。この結果、営業利益、経常利益については前回予想値を下回る見込みであります。

当期純利益についても経常利益の減少及び特別損失の増加により前回予想値を下回る見込みであります。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上